
彩鳥モンハン物語

守り人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

彩鳥モンハン物語

【Nコード】

N7462K

【作者名】

守り人

【あらすじ】

モンハン3で言う、イヤンクックことクルペッコ
そのクルペッコの不思議(?)でハチャメチャな物語

彩鳥1日目（前書き）

どうも、露麒麟です！

新しい小説に挑戦中です！

皆さん温かい目で見守って下さい！

そして、こんな所を直した方が良いなどのご指摘をお待ちしております！！

彩鳥1日目

ここは、モンスター達の樂園『孤島』ここには強大な力を持ったモンスターでさえ現れる、それ故にそのモンスターを狩るためにハンターでさえやってくる、しかしこの物語の主人公はその様なモンスターやハンターでは無く、とてもひ弱なモンスターである

ガチャガチャガチャ……金属音が響く

「ん、確か此処に空の帝王『リオレウス』が出ると聞いてクエストを受注したんだが……」

鎧はディアブロシリーズ武器はアンバースラッシュ改スラッシュアックスである

武器や鎧は使い込んであり手慣れのハンターらしい

グギヤアアアアア!

「つく!」

突如現れたりオレウスのバインドボイスでハンターは硬直してしまうその硬直時間中にリオレウスは火炎弾を放ったハンターは吹き飛んだそして、吹き飛んだハンターは黒こげになり倒れていた

倒したハンターに小型の肉食モンスター『ジャギー』が群がる

想像をしたくはないがこれが現実だ……

此処からはモンスターが言葉を喋るのでご了承を

「今回のハンターは楽に倒せたな…」

そしてリオレウスは自分の巣に戻るべく飛び立った

ガサガサ

茂みから、鮮やかな羽と特徴的な赤色の膨らんだ胸を持つクルペッコが飛び出してきた、つと言いたいのだか、そのクルペッコはクルペッコとは言えるはずのないぐらい小さかったのだ

普通クルペッコは人間より数倍は大きいしかしこのクルペッコは人間程、もしかしたらそれより小さいかも知れないぐらい小さかったのだ

「んゝ、リオレウスもハンターもいなくなったからご飯の時間だゝ」
♪

そう言うと、近くの木に尻尾をぶつけて木の実を落とし、それを食べ出した

「あゝ、おいしかった！」

クルペッコはお腹がいっぱいになったのかそのまま寝てしまった

彩鳥1日目（後書き）

今回はちよいと真面目に書いてみましたが、これからは馬鹿話などにも繋げて行きたいです！

彩鳥1日目(2) (前書き)

今回はクルペッコの名前が出てきます!!

クルペッコ

「フォックさん名前がと〜♪」

彩鳥1日目(2)

クルペッコが目を覚めたのは夕方だった

「んふあゝ、よく寝たな」

ギヤウギヤウ！

遠くでジャギイの親玉ドスジャギイの威嚇の声が聞こえた

「今の声……助けに行かなきゃ！！」

クルペッコはジャギイ達の巢に当たる部分に飛んでいった

「くそ！なんだこのドスジャギイ、普通より仲間の数が多すぎる！！」

そう言いながらリノプロシリーズを装備しているハンターが大剣で周りのジャギイ達を切り捨てていく

「全くだ、ちょこまかと攻撃してくるから弾が装填出来ないぞ」

ジャギイシリーズを装備しているガンナーはライトボウガンに弾が装填出来ないようだ

ギヤルルル、ギヤルルル

ドスジャギイの鳴き声でジャギイノスなどが集まってくる

「くそ野郎！！」

大剣を振り回しジャギイを一掃したハンターがドスジャギーになぎ払いをかける

やっとの事で到着したクルペッコ今置かれている状況をみて思う

（やっぱり！友達を助けなきゃ！）

クルペッコは近くの木に隠れ体力回復と防御力UPのメロディーを奏でる

部位破壊でボロボロになっていたエリマキの部分と傷がみるみるふさがっていく

「ちきしょくクルペッコまで来やがったか！！」

（次は攻撃力UP♪）

クルペッコは攻撃力UPのメロディーを奏でた

「あ！！マチス危ない！」

大剣を使っているハンターがライトボウガンを使っているハンターに大声を張り上げた、しかしその努力も虚しく回避行動を取る間もなくショルダーアタックをまともに受け宙を舞った……そして頭から落ちた、

グシャ！

頭があらぬ方向へと曲がっている

「く！あれじゃ、首の骨が折れちまってんな、一旦退散だ！」

そう言うのとハンターは地面に何かを投げた、モクモクと緑色の煙がたちハンターはいなくなっていた

「それにしても、メロ、お前が来てくれて助かったよ」

ドスジャギイがクルペッコに対してそう言った

「うん♪お腹が減っちゃったから食べ物探してくるね、バイバイ、アレス」

「は？」

一瞬ぽかんとするアレスであった

彩鳥1日目(2) (後書き)

ドスジャギーのアレスと言う名前は戦争を司る神の名前を貰いました〜!!

メロ

「次回もお楽しみにね〜♪」

彩鳥2日目（前書き）

やっと更新できた♪

メロ

「出番が少ないよ」（泣）」

後で、果物一杯あげるから（汗）

メロ

「やった〜!!」

彩鳥2日目

「うみゅー、もう食べられないよー、ムニャムニャ」

よくあるパターンの寝言を言っているがもう昼である

「だからよー、本当に居たんだって」

ベースキャンプの方から声が聞こえる

「とても小さくて羽の中に金と銀の羽が混ざっているクルペッコが
！！」

「本当か？仲間が殺されたからって逃げてきた口実じゃあないの
か？」

「本当だって、信じてくれよー」

どうやら、昨日の大剣ハンターが仲間を連れやってきたようだ

「まあ、居たらすぐに捕獲して、闇の業者に売り払って金を貰うだ
けだな」

話ながらも歩みを進めていた三人

グオオオオオオオ！！

「この鳴き声は、」

「リオだな…」

「面倒なのが出て来やがったよ」

リオレウスが火炎ブレスの体制に入った瞬間

ドゴォオン

リオレウスの足元で爆発音が鳴り響いた

足元にはまだ煙があがり火照ったディープオーションを抱えたハンターが笑いながら立っていた

「どうだい、伝家の宝刀竜撃砲は」

煙が上がる

「き、傷一つついてねえ」

「これでどうだ！」

オオバサミ？を構え弓を放つ

しかし、鱗に弾かれてしまった

「何でなんだよ！！」

溜め3切りを放つが

ガキイン

虚しく弾かれてしまう

「「ば、化け物だ…」」

ギャウギャウ

「ジャギイ達のお出ましか……」

その数、優に30は超える大群であった

「これは前回のドスジャギイの群れの一部だな…おい!!逃げなきゃ殺されるぞ!!」

大剣ハンターが焦りながら叫ぶ

「あ、ああ」

三人がダッシュで逃げる

「う、うわぁ!」

弓ハンターがジャギイノス達に噛みつかれ血だらけになっていた

「♪♪♪♪、♪」

メロが攻撃力UPのメロディーを奏でた

「この雑魚どもが!!」

ガンランサーが抜刀切りでジャギイノスの首を切り裂く

グギャアア

首から鮮血が飛び散り動かなくなる

突如、空が暗くなる

「「「?」」」

ハンター達が上を見上げれるとリオレウスが急降下して来ていた

ガンランサーは盾で大剣ハンターは剣でガードしたが

弓ハンターはそのリオレウスの鋭い爪で串刺しになっていた

ガキン

大剣がハンターの手から飛ぶ

ジャギイ達はその無防備なハンターに飛びかかり喉元などに食らいつく

「う、うわぁ！」

「なんなんだ！」

ガンランサーはガード状態を解除し目の前のジャギイ達を砲撃で吹き飛ばす

ギアアウ

すると後方で待機していたジャギイ達がハンターに飛びつく、見事な連携プレーである
前方に囲になってもらい後方で待機していたジャギイ達が飛びかかったのだ

ギャルル

ジャギイノスに守られているドスジャギイが命令を出していたのだ
メロの支援（防御力UP）でジャギイ達はダメージはほとんど0だったのだ

「アレスありがとう」

「良いつて事よ♪」

メロはハンター達がリオレウスとのバトル中にアレス達を呼んだのだった

「じゃあアレス、あの、『はんたー』達の処理はお願いね」

それだけ言うと茂みの中にある巣に戻って行った

彩鳥2日目（後書き）

メロ

「おいし〜♪」

か、金が……

アレス

「次回をお楽しみな！」

彩鳥三日目（前書き）

勝手に伝説の兵士襲来？

たまにリキッド、ネイキッドの区別がつかなくなりイライラしながらの作品です

彩鳥三日目

ツー、ピ、ガガガガ……

『スネーク？聞こえるか？』

「ああ」

『どうやら、とある孤島に未知の生命体が確認されたらしいんだ』

「未知の生命体？！宇宙人だとかは言わないでくれよ？」

『宇宙人では無いのだが、今回はまるで白亜紀やジュラ紀から復活した恐竜みたいな奴らしい』

「ふざけないでくれ」

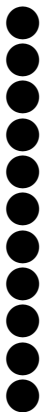
『冗談ではない、ちゃんとミッションとして届いている』

「で、その恐竜みたいな奴を殺してこいと」

『そうだ、今から船をそちらに向かわせる、それに乗って孤島まで行ってくれ』

「わかった」

プツン



「ここか……」

右目に眼帯をつけアサルトライフルXM177E2を装備している。このアサルトライフルはM16A1にサプレッサーを付けた改良型。また、装弾数20発と多めであり使いやすいアサルトライフルである。

（他にショットガンM37。12GAUGE弾使用。装弾数は4。重火器のM63。5.56x45mm弾使用。装弾数100を持つて来ていた）

「ボス、準備が整いました！」

ボスと呼ばれたこの眼帯の男こそ伝説の兵士『スネーク』である

「行くぞ」

スネークは他の三人の兵士達を連れ孤島へと踏みこんで行った

彩鳥三日目（後書き）

次回をお楽しみに

アレス

「それだけ!？」

うん

アレス

「実に寂しい気がするな」

気のせいだよ！

みんなのプロフィール発表！第二段！（前書き）

久しぶりに更新しました！
プロフィール紹介だけど……

みんなのプロフィール発表！第二段！

今回はみんなのプロフィール発表！

まずはメロから！

メロ（クルペッコ）

普通ハンターより2，5倍程大きい筈のクルペッコだがメロはハンターよりも小さい、想像するならミニヤンクックを想像しよう！！

体が小さいので戦いには向いておらず後方支援を得意としているクルペッコの特徴の音楽を奏でて体力回復したりする事は他のクルペッコより数十倍優れている

羽根には金色や銀色の羽根が混ざっている

次はアレスだ！

アレス（ドスジャギイ）

群れをなして行動するジャギイの親玉

アレスは普通のドスジャギイと少し違い一部のブナハブラとルドルスまでもを自分の群れの一員にしている

メロやブナハブラの女王、ロアルドロスと契約を結んでおりそのためブナハブラやルドルスが群れの一員になっている

孤島では優れた軍師力により、リオレウスなどの一部のモンスターなどを除きトップに立っている

まあこれぐらいかなー！！

アレス

「性格とか書いてないけど良いのか？」

多分……

彩鳥3日目(2) (前書き)

久しぶりの更新です

彩鳥3日目(2)

「ボ、ボス大変です！」

一匹のジャギイが大慌てでアレスの元へとやってきた

「第5防衛部隊が謎の武器を所持したハンターによって壊滅状態に陥りました！」

「同じく第4防衛部隊も壊滅状態です！」

「なに！？第4、第5ともにそれなりのハンターとなら俺がいなくても撃退出来る強者揃いだったはずだぞ！！」

直ちに弟1から弟4までの遊撃部隊、弟1、2特攻部隊、弟1特殊部隊を派遣するんだ！

伝令部隊は他の場所にいる仲間達に増援を急遽派遣してもらうように！

ギギイ部隊もゲリラ戦法で行け」

アレスは指示を飛ばす

「っは！！」

「仕方ない最近やってきたガミザミ、ヤオザミ達にも行ってもらおうか……」

突如空が暗くなる

「お前が望むならば我が飛竜達も加勢しよう」

「!？」

「実は奴らには我が同胞達が莫大な被害にあっている、もっとも今回は全く違う奴らだがな、だがアイツらと同じ武器を持っていたのは確かだ」

「わかった助けてもらおう……」

よしアイルー特殊部隊!!」

「もう出撃準備は出来てるニャ!」

そこにはたった3匹のアイルー達が立っていたただ一つ他のアイルー達とは違う部分があるのだ、それは、ハンターが装備してるような防具と武器を持ってる所だ

実はこのアイルー達はアレス達が倒したハンターの装備を回収し独自に研究をし作り出したアイルー専用の装備を纏った特別なアイルーなのだ

「よし! ショットはこのリオレウスとサテンとムサシはそのまま出撃してくれ!」

「了解ニャ!」

ショットはヘビーボウガン、サテンはガンランス、ムサシは太刀を装備している

「おい! アレス!」

アレスが振り向いた先には

「兄弟！どうしたんだ！？」

ドスフロギイとドスバキイがいたのだ

「実はお前の伝令部隊の奴らからの話を聞いてこっちに向かっている途中にリオレウスが此処まで運んでくれたんだ」
伝令部隊は特に足の早いケルビで編成されている

「リオレウスか、ありがとう！」

その時地面が盛り上がり何かが出て来た

「おお！カニナベさん来てくれたのか！？」

カニナベさんはダイミョウサザミだ

「新しい仲間じゃ、放っておけなくっての」

カニナベはそう言い笑っている

その後、ロアルドルス、クイーンランゴスタなどが集まり謎のハンターを向かい討つべく、各自散らばっていった

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7462k/>

彩鳥モンハン物語

2011年7月20日02時52分発行